



2018（平成30）年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 小笠原 康正
(J A S D A Q コード・ 9 8 1 2)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 専務執行役員 小山 直樹
電 話 番 号 0138-45-3911

平成30年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年7月14日に公表いたしました平成30年5月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,000	200	200	100	15.97
今回発表予想 (B)	39,500	△300	△300	△400	△63.89
増減額 (B-A)	△1,500	△500	△500	△500	—
増減率 (%)	△3.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年5月期)	40,187	113	221	△423	△67.58

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の実績に加え第4四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、平成29年7月14日公表の通期連結業績予想を修正いたします。

業績予想の修正に至る主な要因は木材事業、住宅事業、流通事業および自動車関連事業の売上減少によるものであります。

木材事業は、建材部門においては札幌地区の新築着工需要を取り込めていないこと、またフローリング部門においては東北・関東地区の公共工事減少が響き、売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面につきましては、原材料価格および人件費の上昇などによる工事原価の増加、および売上高減少に伴い営業利益が大幅に減少したことにより当初予想を大きく下回る見込みです。

住宅事業は、受注数・受注残ともに前年同期比を上回っておりますが、職人不足による着工や工期の遅れ等により通期での完工および引き渡しが見込めず、売上高は当初予想を下回るものとなる見込みです。利益面では、売上確保のための販売促進費の増加等により当初予想を下回る見込みです。

流通事業は、今冬の大雪など天候面の影響により衣料品販売が振るわず、また来店客数の減少や消費マインドの回復遅れから客単価が伸び悩むなど、売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面につきましては、広告宣伝費・除排雪費用等の増加、および売上高減少による利益減を補いきれないため当初予想を下回る見込みです。

自動車関連事業は、メーカーの完成検査問題により登録車の販売停止期間があったことから、売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面につきましては、粗利益の少ない軽自動車の販売比率が高まっていること、また在庫維持費の増加等により利益率が低下したことにより当初予想を下回る見込みです。

以上を踏まえ、平成30年5月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上